

アーカイブ Data Report

NO. 158

(2022年2月17日)

〒500-8813 岐阜県岐阜市明徳町10番地 杉山ビル5F

E-mail: shikaku@npo-nak.com URL: https://npo-nak.com

NPO 日本アーカイブ協会・岐阜女子大学*・沖縄女子短期大学・学習システム研究会

(* 岐阜女子大学デジタルアーカイブ専攻・研究所、沖縄サテライト校)

日本語(漢字)処理機能をもつ教育情報システムの開発

後藤 忠彦 (岐阜女子大学)

1. 国立教育研究所の教育情報センターの設置

アメリカでは、教育リソース情報センターERIC (Education Resources Information Center)が1960年代にはすでに資料検索のためのシソーラスを公開し、その実用化がされていた。これに対し、日本は文字(漢字)の関係もあるが、大変遅れ、文部省が1970年代に学制度百年記念の事業として、教育資料館(教育情報センター)の設置の審議がされたが、1973年(昭和48年)のオイルショックで中止となり、その後1983年(昭和58年)に国立高育研究所(木田宏所長)が教育情報センターの審議会を開催、1985年(昭和60年)に設置した。

2. 岐阜大学教育情報処理システムの開発(日本語処理)

岐阜大学カリキュラム開発研究センターは1980年に日本語処理を可能なコンピュータを設置し、これまでのCMI(Item Library、学習反応データの保管)を用いた実践研究を基礎に、教育情報処理システムの開発が進められ、1984年には日本語の文献資料データベース、教材データベース等を開発し、教育実践の活用が始まった。

当時、まだ映像・音声等の処理が出来ず、マイクロフィルムによる教材管理がなされていた。また、インターネット等の通信機能も不整備で、学

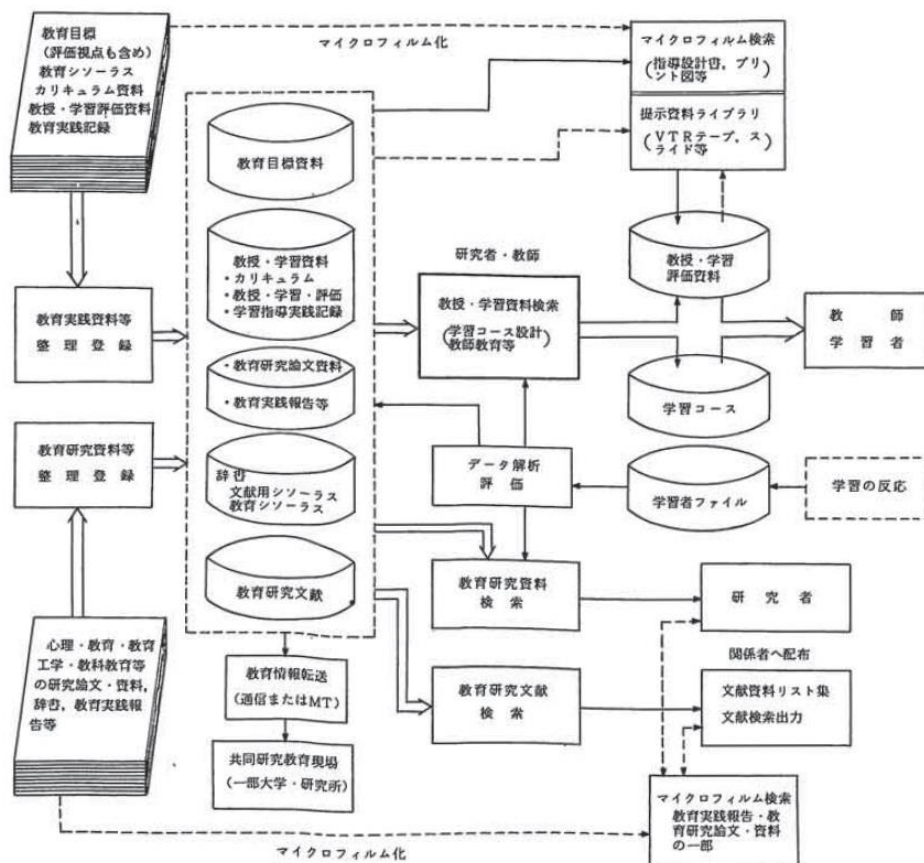
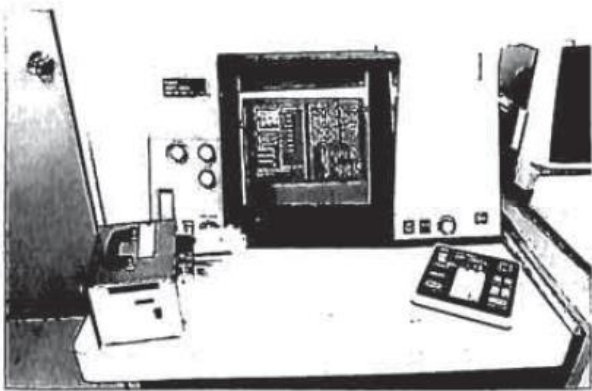


図3 岐阜大学カリキュラム開発研究センター 教育情報データベースの現状(1983年)

習反応のデータ等の多くは、マークカードに記入し、データ入力していた。まだ教育リソースとしてはほど遠い状況であった。



マイクロフィルムによる教材管理検索



学習反応データの管理

3. 保管資料（教材データベースと文献資料のデータベースで構成）

教材データベースとしては、次のような項目が保管された。

（1）教育実践研究関連資料

教育実践で課題解決した事項、解決すべき問題点等の教育実践研究資料の登録を進めた。

（2）カリキュラム関係資料

学習指導計画書（授業計画）、学習コース資料および、教授・学習過程の中で使われる教材、提示資料、学習教材などを登録し、保管した。

（3）評価資料

評価資料および学習反応データ分析結果を合わせて登録し、保管した。

（4）学習反応データ

各教材、評価問題、調査等の学習反応データは、別に学習反応データを用意し、保管し、データ解析処理パッケージを用いて分析処理し、必要な結果を各項目に記録・保管した。

（5）教材データベース用シソーラス

各教科でのシソーラスが、それぞれの関係者で開発され、保管し、各検索、構造化処理等で利用された。

（6）学習指導目標（教育目標）

各教科で教育目標（学習指導目標）を提示すれば、該当する資料が抽出できるように保管された。

4. 処理データ（出力データ）

索引語を用いた検索・処理の他に、各種の処理が開発された。

- ・個人別の学習プリントの作成、出力（個人別の学習の提供）
- ・学習設計用資料の出力
教師の検索・処理の他に、学習に適した順序に並べた系列化処理
- ・CMI、CAI への情報提供